８高農セ第 199 号
令和８年７月 16 日

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和８年度病害虫発生予察技術情報（第９号）

トマトキバガの誘殺数及び作物への被害が確認された地域が増加しています

本種は令和５年６月に高知市で初めて誘殺が確認され(令和５年７月 14 日付け特殊報第２号)、現在までに高知市の他、香南市、日高村、佐川町、四万十町で発生しています。また、令和８年も継続して調査している高知市、香南市の２地点については、令和７年に比べ誘殺数が増加しています（図１、２）。

さらに、作物への被害については、令和６年に初めて県西部の施設栽培トマトで確認され、令和７年には４市町村、令和８年は７月６日現在、８市町村で確認されています（図３～５）。

本種の主要な寄主植物はトマト、ピーマン、ナス、タバコ、バレイショなどのナス科植物で、トマトでは、茎葉に幼虫が潜り込んで食害するほか、果実にも食入し果実品質を損ないます。

なお、令和８年７月現在、29 道府県で本種による農作物被害が確認されていますが、トマト、ミニトマト以外での被害は確認されていません。

防除対策

１　ほ場内を見回り見つけ次第捕殺してください。また、被害葉や被害果を見つけたらほ場から持ち出し、野外に放置せずに土中深くに埋却するかビニル袋に入れて一定期間密閉し本虫を死滅させてから処分しましょう。栽培終了時には蒸し込み等で密度を低減させてください。

２　施設栽培では、開口部に防虫ネット等を設置し侵入を防止してください。すでに防虫ネットを設置している施設では破損箇所がないか確認し、必要に応じて補修してください。

３　薬剤防除の際は薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統（IRAC コード）の異なる薬剤のローテーション散布を行ってください。また、海外では、本虫に対して天敵（タバコカスミカメ）による防除効果が確認されています。

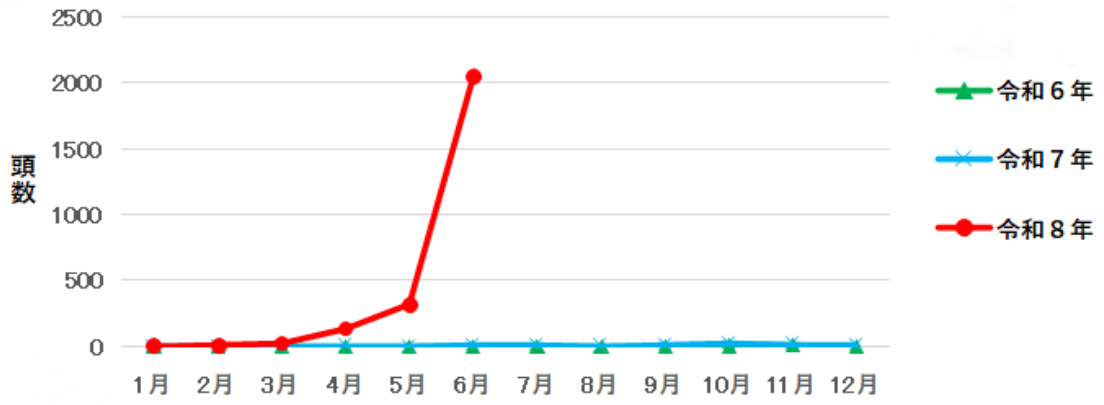

図１　フェロモントラップによるトマトキバガ誘殺数の推移(香南市夜須)

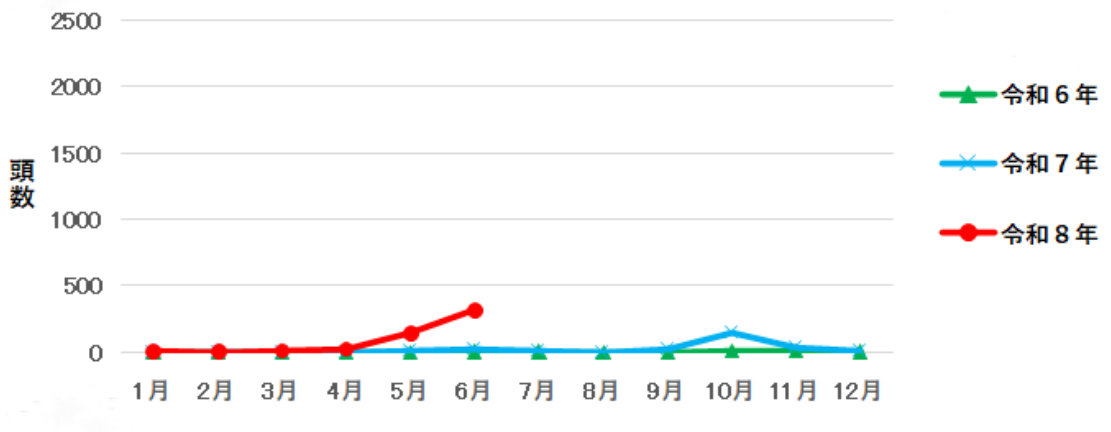

図２　フェロモントラップによるトマトキバガ誘殺数の推移(高知市春野)

図３　トマトキバガによる作物への被害発生地域(令和６年)

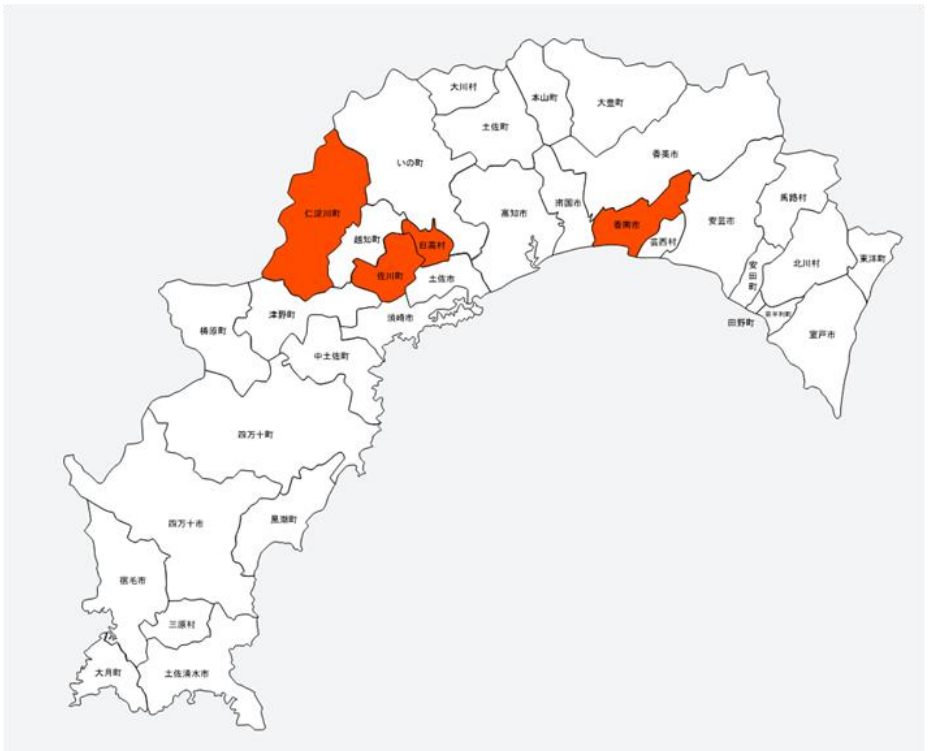

図４　トマトキバガによる作物への被害発生地域(令和７年)

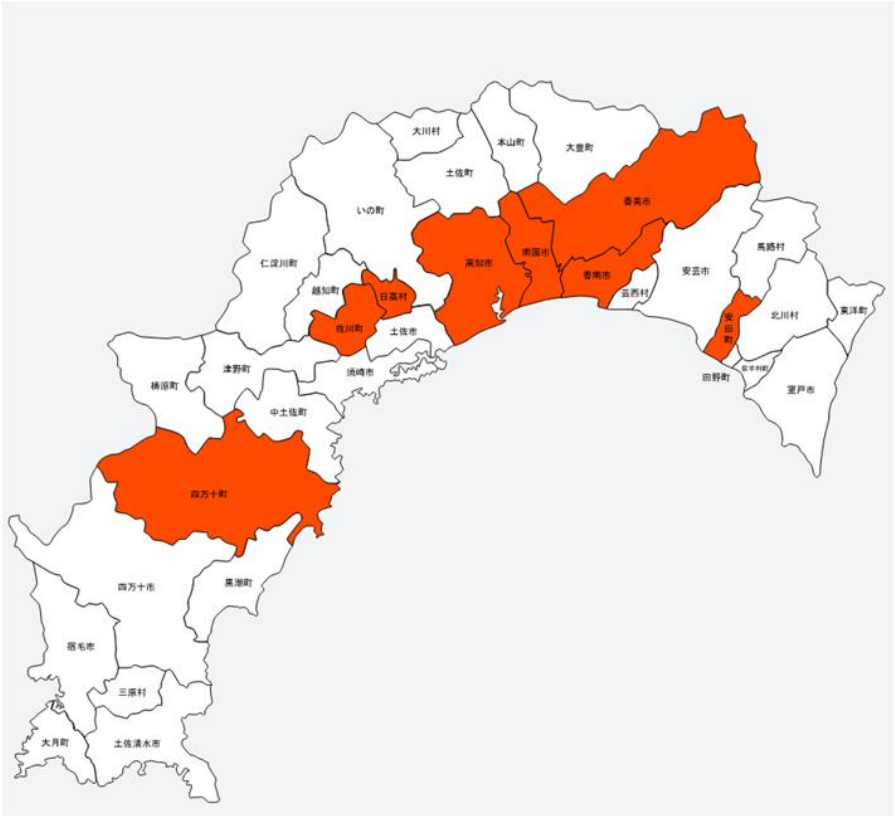

図５　トマトキバガによる作物への被害発生地域(令和８年７月６日まで)

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで